

2026年度 共立女子大学大学院 試験問題

No. 1

選抜制度	日程	研究科	専攻	領域
一般	Ⅱ期	文芸学研究科	文芸学専攻	小論文(文芸学領域)
受験番号		氏名		採点

【小論文】

2000年代以降のデジタル・プラットフォームの普及は、情報のパーソナライズ化を加速させ、「エコーチェンバー」や「フィルターバブル」といった現象を生じさせている。この状況について、以下3人の社会学者らの理論枠組みを援用しつつ、< >内に示す3つのキーワードのうち少なくとも1つ以上を用いて、現代における「公共圏」の変容、あるいは「自己のアイデンティティ形成」のあり方について800字以上1,600字以内で論じなさい。

- ①吉見俊哉：<ドラマツルギー>
- ②レフ・マノヴィッチ：<ニューメディアの言語>
- ③ロバート・パットナム：<社会関係資本>

◇注意事項

- ・使用したキーワードは解答文中に< >で括ること。
- ・使用したキーワードの概要を記し、具体的な事例を挙げながら論じること。

